



ミライアル株式会社 2013年1月期 第1四半期決算説明資料

2012年6月 8日



ミライアル株式会社



目次

2013年1月期 第1四半期決算概要.....	2
2013年1月期業績予想.....	8
弊社を取り巻く業界環境.....	12
今後の経営戦略.....	14





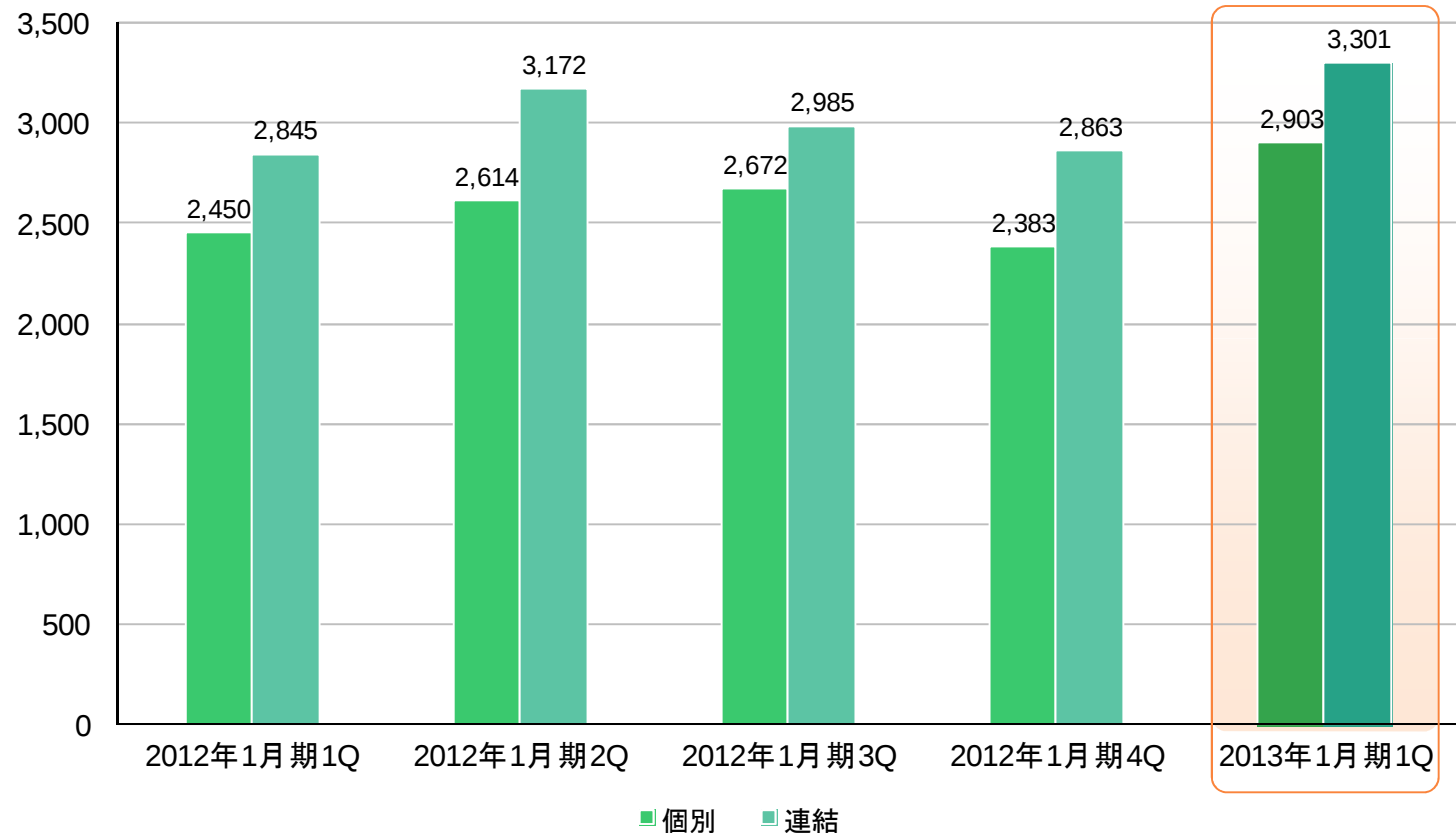
2013年1月期 第1四半期決算概要

1. 業績ハイライト

- 連結売上高については、前4Qから15.3%増の33億1百万円でした。
- 個別売上高については、前4Qから21.8%増の29億3百万円でした。
- ミライアル単体は、半導体関連製品の前年度後半からの在庫調整局面が一段落し、一部顧客の受注増加が見られたことから、売上高は、好調に推移し、営業利益も増加しました。
- 連結子会社である㈱山城精機製作所は、震災の影響や円高の長期化等、外部環境は引き続き予断を許さない状況にあり、更なるコスト改善と高付加価値製品の拡販に注力致しましたが、売上高、営業利益ともに低調に推移しました。

売上高推移(四半期毎)

(単位:百万円)



2. 事業別売上高の比較

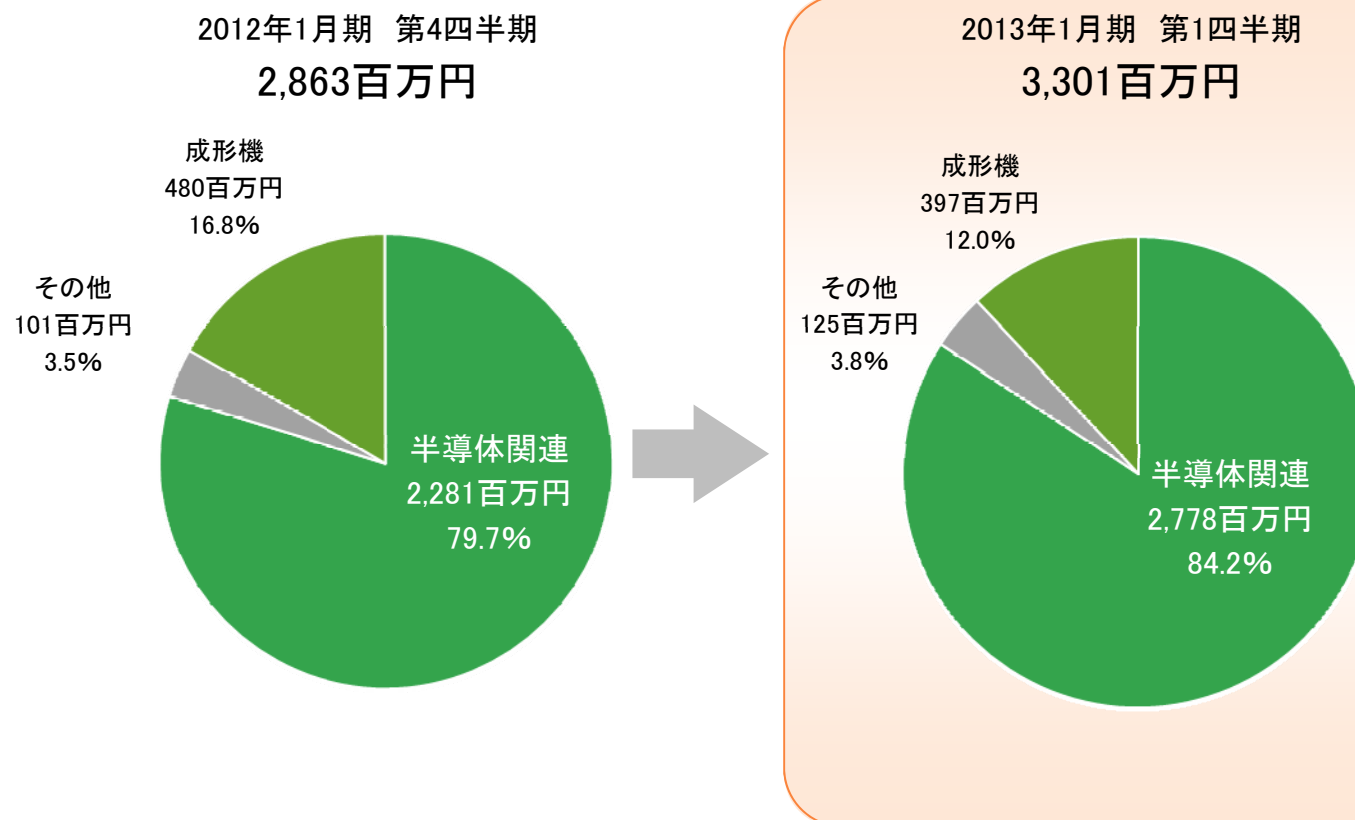
■ プラスチック成形事業

- 半導体関連事業は、主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOS B」の前年度後半からの在庫調整局面が一段落し、一部顧客の受注増加が見られたことから、好調に推移し、前4Q比21.8%増の27億78百万円となりました。
- その他事業については、前4Q比23.8%増の1億25百万円となりました。

■ 成形機事業

- 前4Q比17.3%減の3億97百万円となりました。

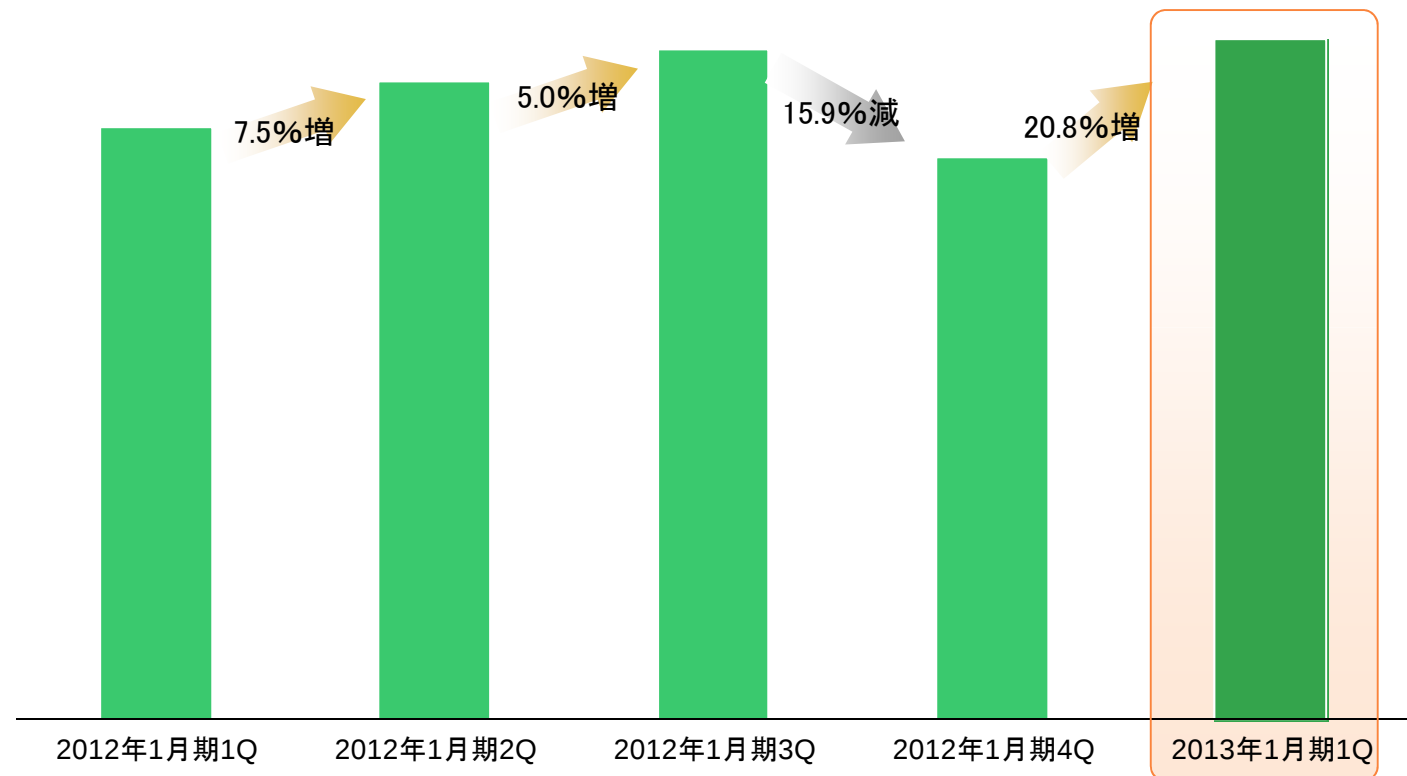
事業別売上高(連結)



3. 半導体関連事業の業績

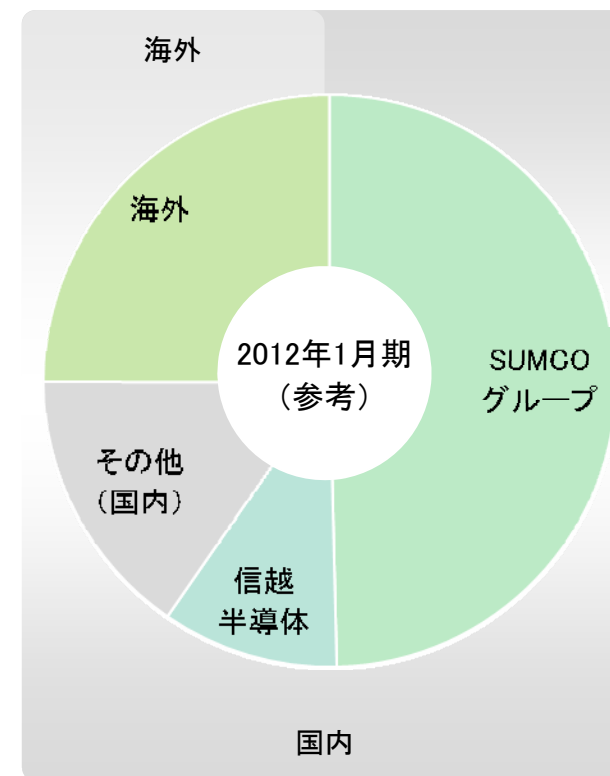
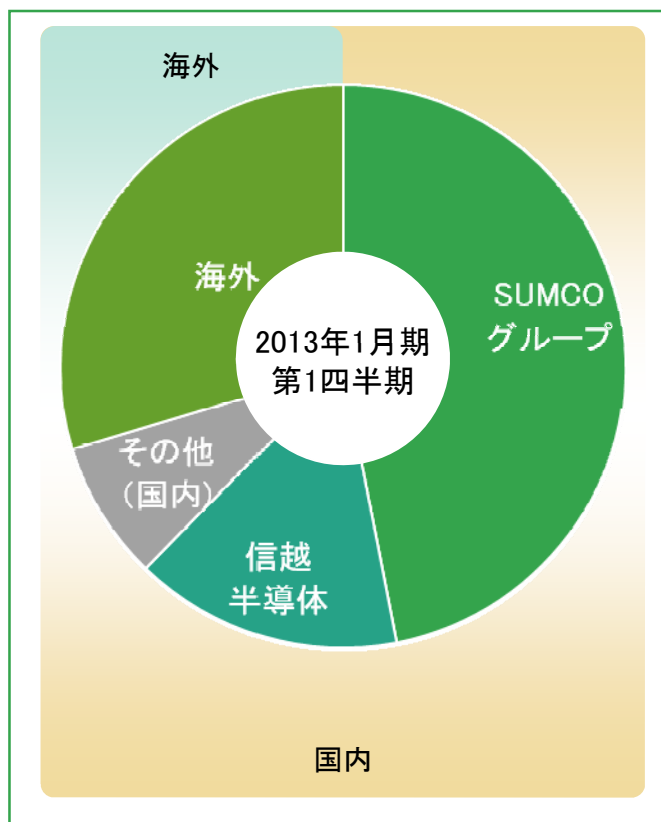
- 出荷容器は、前4Q比20.8%増となりました。
- 工程内容器については、半導体メーカーの設備投資の影響により、300mm工程内容器「FOUP」が増加し、前4Q比26.5%増となりました。

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移(四半期毎)



4. FOSB出荷実績得意先別シェア

弊社FOSB出荷実績得意先別シェアの動向



5. 2013年1月期 第1四半期会計期間決算概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2012年1月期 第1四半期会計		2013年1月期 第1四半期会計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	2,845	△15.4	3,301	16.0
売上総利益	1,015	△31.0	1,225	20.6
営業利益	516	△47.9	674	30.6
(営業利益率)	18.1		20.4	
経常利益	542	△52.5	684	26.0
税引前当期純利益	502	△62.6	601	19.9
当期純利益	199	△75.5	323	62.4
設備投資	6		68	
減価償却	111		96	
純資産	15,462		16,321	
総資産	19,479		20,991	

個別業績

(単位:百万円・%)

	2012年1月期 第1四半期会計		2013年1月期 第1四半期会計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	2,450	△12.5	2,903	18.5
売上総利益	884	△31.3	1,101	24.5
営業利益	518	△45.7	697	34.5
(営業利益率)	21.2		24.0	
経常利益	514	△51.0	701	36.2
税引前当期純利益	495	△60.4	701	41.6
当期純利益	292	△60.9	415	42.0
設備投資	5		68	
減価償却	102		87	
純資産	15,281		16,134	
総資産	18,103		19,636	





2013年1月期業績予想



1. 業績予想サマリー

売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には拡大を続けていく見通しです。
- 半導体業界の成長率は微増の予想にとどまり、品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- リユースについては、足下で全体の容器量の内、30%前後で推移していると予想しています。今後も同様に推移すると見込んでいます。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、汎用機の標準化と付加価値の高い特殊機に重点を置き、売上高・利益ともに回復を図ってまいります。

営業利益、経常利益

- グループでのコラボレーションを強化し、更なるコストダウンを実施します。
- 既存製品の設備投資は、合理化及び品質維持に要する設備投資に限定します。
- 450mm関連製品は、市場動向を見極め積極的に取り組み、開発投資、設備投資をしていきます。このため、先行して開発費、償却費の負担が発生します。

2. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2012年1月期		2013年1月期(予)			
			2013年1月期 第2四半期累計			
	金額	前期増減率	金額	前期増減率	金額	前期増減率
売上高	11,867	△0.6	6,200	3.0	12,660	6.7
営業利益	2,295	△21.2	1,090	△7.7	2,190	△4.6
経常利益	2,475	△22.1	1,090	△18.7	2,200	△11.1
(当期)純利益	1,348	△38.5	580	△10.2	1,240	△8.1

事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2012年1月期			2013年1月期(予)					
				2013年1月期 第2四半期累計					
	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率
プラスチック成形事業	10,120	85.3	△0.6	5,100	82.3	0.7	10,460	82.6	3.4
半導体関連	9,634	81.2	△0.7	4,830	77.9	0.9	9,930	78.4	3.1
その他	485	4.1	△0.2	270	4.4	△2.9	530	4.2	9.1
成形機事業	1,747	14.7	△0.5	1,100	17.7	15.3	2,200	17.4	25.9
合計	11,867	100.0	△0.6	6,200	100.0	3.0	12,660	100.0	6.7





3. 450mm関連について

450mm関連設備投資

■ 今期の設備投資額 13.9億円

うち450mm関連 10.6億円

■ 450mm関連設備投資

建物等 1月着工 夏頃竣工予定

機械設備 夏頃導入予定

金型 秋口完成が中心



弊社を取り巻く業界環境

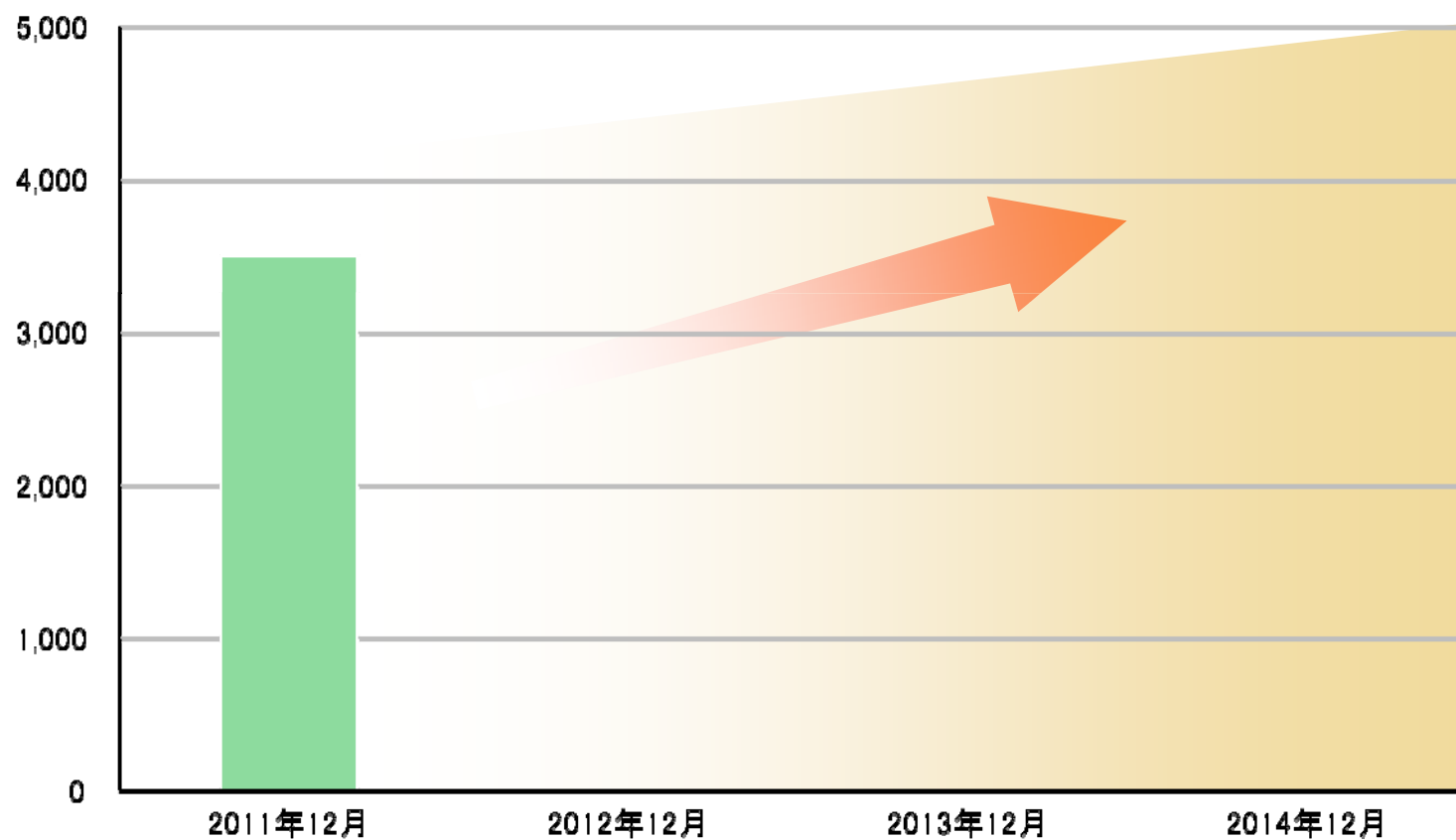


シリコンウエハ市場の動向

- 半導体用途の拡大に伴い、シリコンウエハの需要は、300mmを中心に伸びていくと予想される。

300mmウエハの需要予想

(千枚/月)



出所：弊社推測





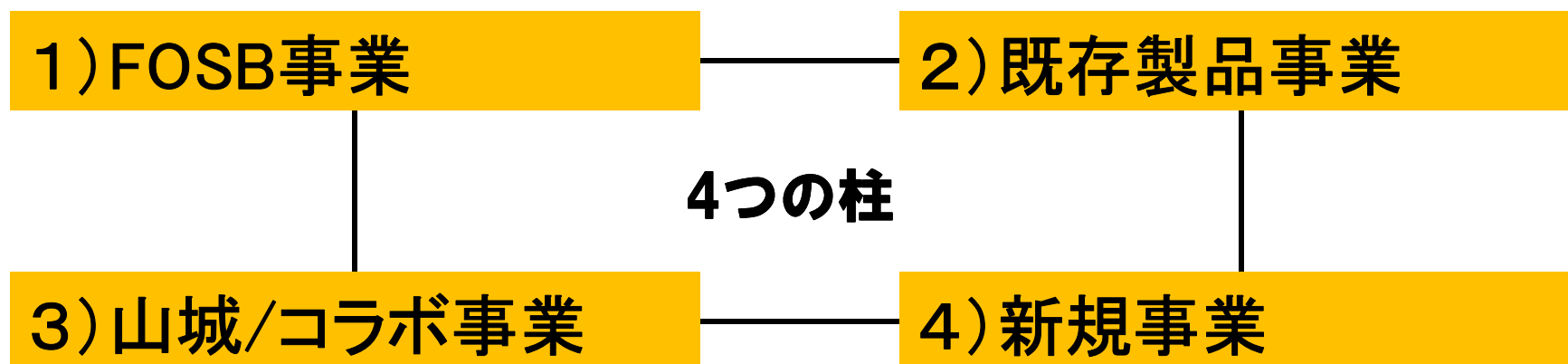
今後の経営戦略

基本方針

基本方針

1. 現存事業の安定利益源化
2. 新たな収益源の構築
3. グループ基盤の強化

4つの柱





1. 現存事業の安定利益源化

1) FOSB (300mm&450mm) 事業

- 300mmFOSBシェアの維持
- 450mmFOSBの着実な発進



品質の造り込みとコスト削減

2) 既存製品事業

①プラスチック成形事業(ミライアル)

- 当社コア技術の再確認



- 新製品開発、販売チャネル拡大

②成形機事業(山城)

- 標準汎用機の販売促進と原価低減、大型機の販売促進
- 付加価値の高い特殊機の販売強化





2. 新たな収益源の構築

3) 山城/コラボ事業

- 成形機(山城)と成形品(ミライアル)のコラボレーション



- 縦型による成形品の製造立ち上げ ➡ 新製品開発

4) 新規事業

① 新規製品開発

- グループ内技術の活用、マーケットの掘り起こし

② 新規事業の創出

- ドメイン拡大・多角化による事業リスクの分散





本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経理部

電話: 03-3986-3782 FAX: 03-3986-3853 E-Mail: investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

